

(第2回議事録)

1. 開 会

○事務局（板倉）

事務局の板倉です。

ただいまより、第2回富山水素エネルギー導入促進協議会を開会致します。

どうぞよろしくお願いいたします。

会場を変更しましたこと、申し訳ありませんでした。

想定より若干多くのご出席となり会場変更となりました、お詫び申し上げます。

開会に先立ちまして、副会長であります。富山トヨタ自動車(株)の品川さまよりご挨拶をお願いします。

○品川副会長

副会長の品川でございます。

政府がFCVの普及目標の数値を決め、経産省が水素・燃料電池ロードマップの改定を公表するなど水素関連のニュースが相次いで発表されました。

5月に富山市内でG7富山環境大臣会合が開催されます。協議会としてもフォーラムを開催します。

事務局では、富山水素エネルギー利活用ビジョン・ロードマップの作成作業に入りました。年内完成を目標に取り組んで参ります。情報を共有し、お互いに切磋琢磨し、知恵を出し合いながら進めていきたい。ご意見、ご提案をお願いします。

○事務局（板倉）

有難うございました。

事務局より資料を配布しております。お手元ご確認ください。

本日の流れをご説明します。

一部として環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課 沖本様から環境省のお取組についてご講演を頂きます。

二部は、今月燃料電池車「クラリティー」を上市されました本田技研工業の経営企画部環境安全企画室の開発技師でいらっしゃいます佐藤様からスマートステーションの開発などご講演を頂きます。

最後に事務局から当協議会のテーマである富山水素エネルギー利活用ビジョン・ロードマップについてご報告と意見交換を行いたいと考えております。

それでは、議事進行につきましては中村議長にお願いしたいと思います。
中村議長、宜しくお願いします。

2. 議 事

○中村議長

中村でございます。

それでは、議事を進めたいと思います。

先週の16日に中央の水素燃料電池戦略協議会で、具体的な数値目標を設定すると発表されました。水素ステーションも現状の約80カ所から25年に320カ所に増設する計画とのことです。水素を本格的に利活用する社会の実現に向けた取組を加速する方針と受け止めております。

本日は、環境省の沖本さまと本田技研の佐藤さまに東京から来て頂きました。
国の方針、他県の取組を含めて情報を頂けるとと思います。

では、第一部として環境省 沖本さまより「水素社会実現に向けた環境省の取組」と題しましてご講演をお願いしたいと思います。

環境省 沖村様は、水・大気環境局 自動車環境対策課で再生可能エネルギー由来の水素を活用した水素ステーションの普及政策などに取組んでおられます。

それでは、沖村課長補佐様 宜しくお願いします。

○環境省 沖村様 『水素社会実現に向けた環境省の取組』 講演

～14:10(予定) 最大14:20まで

○中村議長

どうもありがとうございました。

ただいまのご講演について、何かご質問等があればお願いいたします。

沖村様有難うございました。

今一度、拍手をもって謝意を表したいと思います。

続きまして、第二部に移りたいと思います。

第二部は、本田技研工業㈱ 佐藤さまより『地域再エネスマートステーションについて』

ご講演をお願いしたいと思います。

本田技研工業(株)佐藤さまは、経営企画部環境安全企画室で開発技師としてスマートステーションをはじめ燃料電池車「クラリティー」の普及プロジェクトに携わっておられます。

それでは、佐藤さま 宜しく申し上げます。

○本田技研工業 佐藤様 『地域再エネスマートステーションについて』 講演
～15:00(予定) 最大15:10まで

○中村議長

どうもありがとうございました。

ただいまのご講演について、何かご質問等があればお願いいたします。

佐藤様有難うございました。

今一度、拍手をもって謝意を表したいと思います。

○中村議長

講演は、終了しましたので事務局より協議会の利活用ロードマップの取組状況報告と事務連絡を行いたいと思います。

○事務局(若木)

それでは、事務局から利活用ビジョン・ロードマップの進捗についてご報告いたします。

ロードマップの作成については、今年度の協議会のテーマでありまして事務局を中心に作成作業を進めております。

現在、国のロードマップや他県の取組などをベースにして目次の抽出を行いました。

概ね5つのテーマでの大分類を考えております。

1 つめのテーマとして「ビジョン策定の趣旨・背景」

2 つめのテーマは「全体目標とスケジュール」

3 つめのテーマは「水素エネルギーの概要」

4 つめのテーマは「富山県のエネルギー実態・概要」

5 つめのテーマとして「地域の地活用モデル」

お手元資料については、事務局で作成した原案、下書きのようなものです。

当協議会としては、4番・5番目が重要なテーマと考えております。

既に数社から独自のお取組や開発テーマなどもお聞きしてございまして、可能な範囲で利活用の事例のなかに反映していきたいと考えております。

この先の作成作業に当たっても、会員の皆様のご意見をなるべく多く取り入れていきたいと考えておりますので事務局から個別にご協力やヒアリングなどをさせて頂くこともあるかと思いますがお力添え宜しくお願いします。

○中村議長

これまでの内容について、皆様のご意見を伺いたいと思いますがいかがでしょうか？
ご質問でも結構です。

それでは、協議会の活動報告をお願いします。

○事務局（若木）

資料-5を参照ください。協議会のHPを作成しました。

協議会の概要や取組活動を周知して参ります。

ご希望のある会員様のバナーを掲載する考えです。

ご希望があれば事務局にお申し出ください。メールでもご案内します。

次に5月に開催されます、G7環境大臣会合についてですが協議会としても協力していきたいと考えています。

プレスセンターでの展示ブース開設や関連行事として5/11にフォーラムを開催します。

富山トヨタ自動車さんのご尽力で燃料電池車MIRAIも展示します。

皆様のご協力も重ねてお願いします。

関連情報としてロードマップでもご説明しましたが、政府は現行の水素・燃料電池戦略を見直して、燃料電池自動車（FCV）について2020年に4万台、25年に20万台の中間目標を設定。2030年に80万台の普及目標を示した。国がFCVの普及目標を設定するのは初めて。

現状のFCV普及台数は400台程度にとどまる。また、25年頃に普及価格帯のFCV投入を目指し、主要部材の低コスト化などを支援する方針とのこと。

計画では、低コスト化の技術開発を進め、現行700万円台の価格を量販可能な水準まで引き下げることを目指す。25年ごろまでに200万円台を視野に入れる。

水素ステーションは現状81カ所から25年に320カ所に増設する計画とのこと。

当協議会のロードマップにも反映していきたいと考えております。

最後に政府から事業化可能性調査の公募や環境省さんからもご説明がありました水素ステーションの実証予算（実験ステーションの予算）が出ております。

協議会としましては、会員さまの状況をヒアリングして可能であればワーキングチームを編成しようと考えております。

是非に参加・検討したい会員様がいらっしゃれば事務局までお願いします。

○中村議長

ご質問はありますか？

ロードマップの作成については、協議会の課題でもありますので皆様のご協力を宜しくお願いします。

それでは、時間も参りましたので議事を終了したいと思います。

3. 閉会

○事務局（板倉）

みなさんお疲れ様でした。

ご質問などありましたら、遠慮なく事務局にお申し付けください。

今後の予定をお伝えします。

- (1) G7 関連行事 5月11日（国行政、自治体、次世代自動車研究会）
- (2) 次回協議会 7月27日（予定 富山県民会館）

よろしいでしょうか？

以上をもちまして、第2回富山水素エネルギー導入促進協議会を閉会します。

どうもありがとうございました。

以上